

(仮称) 大崎市立日本語学校設置施設選定会議における選定結果について

1 選定施設

名 称 旧 大崎市立西古川小学校
所 在 地 大崎市古川保柳字氏子114番地1

2 選定経過

(1) 事前会議 (仮称) 日本語学校設置施設選定調整会議

日 時 令和5年4月25日(火) 午前10時～午前11時30分
場 所 大崎市地域交流センター 研修室3

(2) 本 会 議 (仮称) 大崎市立日本語学校設置施設選定会議

日 時 令和5年5月11日(木)
午前9時30分～午後2時 各候補施設の現地調査
午後3時～午後4時50分 会議

場 所 旧大崎市立清滝小学校, 旧大崎市立上野目小学校, 旧大崎市立東大崎小学校, 旧大崎市立西古川小学校及び大崎市役所本庁舎402会議室

3 委員及び委員以外の者

委 員 大崎市市民協働推進部長 伊藤文子(会長), 産業経済部長 寺田洋一, 教育部参事兼教育総務課長 小野寺晴紀, 市民協働推進部行政管理課長 佐々木法由(4月25日欠席), 総務部財政課副参事 高橋學

委員以外の者 東北大学言語・文化教育センター准教授 澤邊裕子(4月25日オンライン参加), 公益財団法人宮城県国際化協会総括マネージャー 大泉貴広, 宮城県経済商工観光部国際政策課総括課長補佐(日本語学校準備担当) 日野貴広

4 審査方法

(仮称) 日本語学校設置施設選定調整会議において, 留学生の視点を踏まえた候補施設の評価項目及び評価基準などの評価方法を決定した。

事務局において, 当該評価方法に基づく各候補施設の調査と評価(点数化)を行った。

(仮称) 日本語学校設置施設選定会議において, 事務局が行った各候補施設の調査結果及び当該調査結果に基づく評価の判断が当該評価方法に基づき適切に行われているかについて審査を行った。

5 審査結果

審査の結果、旧大崎市立東大崎小学校の評価について、公共交通の充足度の評価が修正され、4点が評価（点数）に加点され合計点が70となった。

最終的に旧大崎市立西古川小学校の評価（点数）が最も高く、（仮称）大崎市立日本語学校の設置施設として最も適した施設として選定された。

なお、各候補施設の評価（点数）は以下のとおり。

施設名	合計点（審査前）	合計点（審査後）
旧 大崎市立西古川小学校	72	72
旧 大崎市立東大崎小学校	66	70
旧 大崎市立上野目小学校	54	54
旧 大崎市立清滝小学校	50	50

6 最終審査結果

旧上野目小学校の評価の修正について、会議終了後、代替となり得る公共交通として、市民バスの鳴子線（荒屋敷停留所）があることが判明したため、会長及び委員の了承のもと修正を行い、2点が評価（点数）に加点され合計点が56点となったが、選定結果に変更はなかった。

なお、最終的な各候補施設の評価（点数）は以下のとおり。

施設名	合計点（審査後）	合計点（最終審査後）
旧 大崎市立西古川小学校	72	72
旧 大崎市立東大崎小学校	70	70
旧 大崎市立上野目小学校	54	56
旧 大崎市立清滝小学校	50	50